

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための 学校休業から学校再開、そして、今

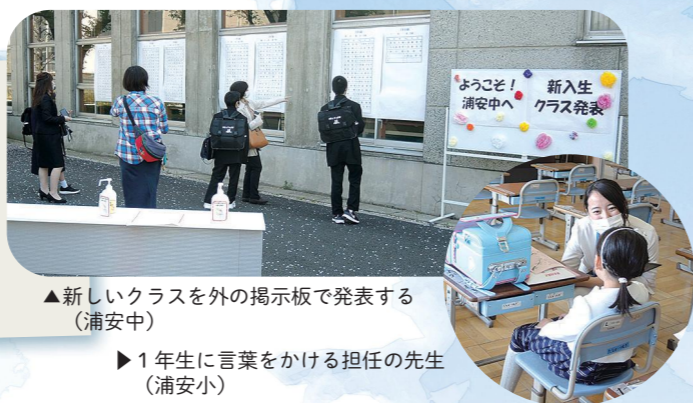
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3月2日から全国全ての小・中学校、高等学校、特別支援学校に臨時休業が要請され、浦安市の園、小・中学校も3月2日から一斉休業となりました。

新年度を迎えた4月以降、子どもたちの健康、安全を第一に考えながら、園、学校の再開に向けて、様々な取り組みを行ってきました。

4月8日～10日 特別連絡期間

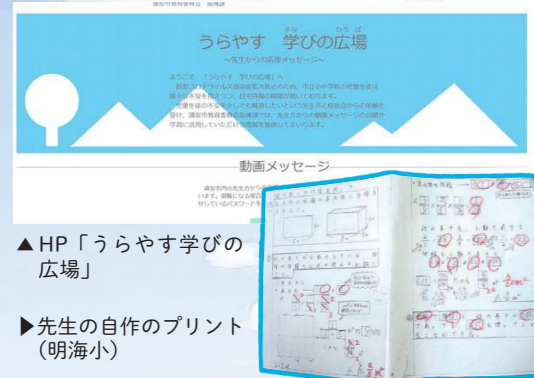
入学式は延期となりましたが、クラスの決定や担任の先生の紹介などのための連絡期間を設けました。

担任の先生に話しかけられる姿や、ドキドキしながら、誰と同じクラスになったのかを確認する姿が見られました。



▲新しいクラスを外の掲示板で発表する (浦安中)

▶1年生に言葉をかける担任の先生 (浦安小)



▲HP「うらやす学びの広場」

▶先生の自作のプリント (明海小)

4月～5月 オンライン等での学びの場

休業中の子どもたちの学びを支援するため、各学校が作成した学習動画や学習支援にかかるウェブサイトを紹介したホームページを作成しました。

また、学校に整備されているタブレットを必要に応じて貸し出し、誰でもオンライン学習が行えるようにしました。

学校のホームページに課題を示したり、先生がプリントを作成したりするなど子どもたちが自分で学習を進められるように支援しました。

5月11日～29日 学校の再開に向けて

子どもたちがスムーズに学校生活に移行できるように登校日を設けました。週に1日、1時間程度から徐々に日にちや時間を増やしていきました。



▲体育館で間隔を空けて集まる (明海小)

▲クラスの半分の人数で授業を行う (美浜南小)



▲午前と午後クラスが半分ずつに分かれて登校する (見明川小)

8:20～11:20
各クラスのAグループ
13:00～16:00
各クラスのBグループ

6月1日 園、学校の再開

市内の園、小・中学校が再開されました。感染症対策を講じながら1日から12日までの2週間は各校(園)の実態に応じた分散登校で3時間程度の学習を行いました。

◀手洗い場の密を避けるための表示 (見明川中)

6月4日、6日 入園式・入学式

延期となっていた入園式が4日、入学式が6日に行われました。学校規模に応じて、2回、3回に分けて実施する学校もありました。式が終わると先生たちが椅子を消毒し、次の式に備えていました。

式を終えた小学1年生は「立って、しっかり返事ができた」と誇らしげでした。



▲2回目の式に備えて消毒する先生たち (高洲中学校)



▲6日の午後に行われた高洲中学校の入学式



▲6日の午前に行われた高洲北小学校の入学式



▲神明認定こども園の入園式

6月15日 給食開始

15日から小・中学校では給食が始まりました。小学1年生にとっては初めての給食です。「1年生の配膳は先生が行う」「全員が机を前に向けて食べる」など感染症対策を行い、みんなで給食をおいしそうに食べていました。



▲1年生の配膳の様子 (南小学校)

▲全員が机を前に向けて食べる (南小学校)

▶一人ずつ火おこし体験を行う (東小学校)



▲ICTを活用した読み聞かせ (美浜南小学校)

▶タブレットを使った双方向のやり取り

6月～7月 新しい学校生活様式

密閉、密集、密接を避けながら、工夫した教育活動が展開されています。本の読み聞かせは、ICTを活用し、席に座ったままでも本の絵が見えるようにしています。郷土博物館が行う火おこし体験は、いつもはグループで協力して行うのですが、上手に足で板を押さえながら、1人で火をおこそうと頑張っていました。



▲橋爪会長から鈴木教育長に要望書が提出される

これからの学校

集団感染のリスクを回避するために、基本的な感染症対策を実施し続けることや子どもたちに新型コロナウイルス感染症の予防方法を身に付けさせることが必要です。このような新しい学校生活様式を実践することが求められています。

一方で、子どもたちの学習環境を整備することも重要です。文部科学省のGIGAスクール構想の実現に向けて、現在、各学校に40台程度整備されているタブレット端末は、3人に1台程度の割合で使用できるように10月に追加配備されます。そして、年度末までに1人1台の環境が整う予定です。

また、双方向のやり取りができるためのネットワーク環境の整備も進めています。

このようなICT環境の整備については、浦安市立小中学校PTA連絡協議会長からも、ICTを活用した学校と児童生徒とのコミュニケーションを行う方法を整備することを求めた要望書が教育長に手渡されました。

今後、より一層、ICT環境を整え、その活用について推進していきます。